

大障教ニュース

大阪府立障害児
学校教職員組合
大阪市天王寺区
東高津町7 11
府教育会館704号
(TEL)6765-8904
(FAX)6765-8905

府当局 退職手当の引下げを提案

教職員の生活設計を脅かすな! 当局は全国平均並みの賃上げを行え!

11月17日、大阪府当局は、府労組連・大阪府関連労働組合連合会)に対し、退職手当の支給割合の改正についてを提案しました。その内容は、退職手当を現行の「87/100」から「83.7/100」に引下げ、来年1月1日に実施するというものです。府労組連はこの提案に対し、厳重に抗議し、直ちに撤回するよう求めました。

「賃金泥棒」ともいつべき暴挙

今回の府当局の提案は、国家公務員の退職手当引下げが閣議決定(11月17日)されたことを受けて行われました。府当局は、退職手当の削減を国に合わせて来年1月に実施するため、協議期間を12月11日まで設定しています。教職員や府職員の退職後の生活設計を脅かす重大問題を、1カ月にも満たない短期間で、

決定しようとするなど、労働者のルールに反するもので断じて許せません。そもそも退職手当は定年後の生活を支える「賃金の後払い」です。その引下げは、本来支払うべき賃金を盗み取るようなものであり、使用者による「賃金泥棒」とも言いつべき暴挙です。

大阪府では、20年前から続く賃金抑制や昇給延滞、7

当局提案にもとづく退職手当引下げ額 (府労組連試算)

- 主査: 74万円
 - 副主査: 67万円
 - 技能労務主査: 69万円
 - 技能労務副主査: 65万円
 - 高等学校等教諭: 84万円
 - 小中学校教諭: 83万円
- 行政職給料表適用者の給料月額を基礎に「勤務期間35年以上、定年退職」として試算
最高号給の給料月額を基礎として試算

職場決議に寄せられた怒りの声

“身を切る改革”と言って、議員の賃金削減は議会の同意があったかもしれませんが、府の職員は退職金削減の合意はしていません。職員の生活保障ができないで、府民の生活保障は到底なりたちません。

全国でも最低レベルの給与である大阪府、そしてさらに退職金の引き下げ、これは明らかに勤労意欲を下げる暴挙です。

長年勤続した報奨である退職手当を引き下げれば、働く意欲を無くすことになります。退職後の生活を守るためにも撤回を求めます。

賃上げこそ「社会的要請」

年間にも及んだ賃金カット、さらには3年前の給料表2%引下げ、人事委員会の公民比較方法の見直しによる引下げなど、独自の賃金引下げが行われてきました。その結果、大阪府の公務員が生涯に受け取る賃金は、国や他府県に比べて大幅に引下げられています。総務省の調査では、給料表1級・2級の構成比率が、国16.4%、都道府県平均26.7%に対して、大阪府は51.9%となっており、半数以上の職員に1級・2級の低賃金が押しつけられるという、全国的にも異常な状況が明らかになりました。

大阪府で行われている公務員の賃金カットは、府内企業の99%を占める中小企業をはじめ、民間労働者の賃金を大きく引下げる悪影響を及ぼし続けてきました。ここからさらに公務員の退職手当を平均78万円も引下げれば、大阪経済により一層の深刻な打撃を与えることになりかねません。

こうした実態を無視して、「国に準ずる」という理由だけで退職手当引下げを提案するなど、大阪府としての主体性や独自性を放棄する極めて無責任なものです。

また、労働力人口が減少し、有効求人倍率はバブル期最高の1.46倍を超えて1.52倍にまで達しています。中でも大阪府は8.9月に1.59倍となり、松井知事も、人手不足になれば一人ひとりの所得も上がるのは、経済の当然の原則」と述べています。安倍首相も5年連続で産業界に賃上げを要請し、今年「3%の賃上げ」と具体的な数字まで上げました。経済を活性化させるうえで、賃上げは「社会的要請」となっています。

大障教は、引き続き大教組・府労組連に結集し、教職員の退職後の生活を守るため、退職手当の引下げ撤回のたたかいに全力を尽くします。

大障教ホームページアドレス <http://www.1a.biglobe.ne.jp/fushou/> Eメール アドレス : fushoukyou_1@mtb.biglobe.ne.jp



会計検査院は、豊中市の国有地が、森友学園に鑑定価格より8億円以上値引きされて払い下げられた問題についての検査結果をまとめました。それによると、値引きの根拠とされた最大地下9.9メートルまで埋まっていたという「ゴミの撤去費用が、十分な根拠を確認できない」と断定されました。正確な「ゴミ撤去の費用は確定していませんが、撤去費用の試算が過大だった以上、森友学園への払い下げ価格が低すぎたのは明らかです。

10年間の契約で貸し出された国有地が、汚染土などの除去費1億円余りを財務局が支払ったうえ、値引きされて、森友に売却されました。籠池理事長は「こうした経過を、神風が吹いた」と表現しています。「森友」が開設を予定していた小学校は、安倍首相の妻、昭恵氏が名誉校長を務めていました。その時期は、払い下げ交渉の時期とも合致しています。昭恵氏は、政府職員を通じて土地の借入れについて財務省に照会しており、その関与が疑われるのは当然です。

国民の共有財産である国有地が、意図的に格安で払い下げられていたとすれば、公務員の場合には背任罪にも問われる犯罪です。会計検査院の検査結果が出た以上、近畿財務局などの価格交渉がどのように行われ、昭恵氏らの関与はどのようだったのか、その説明が必要です。

しかし、首相は一貫して昭恵氏の証人喚問を拒み、口先だけは、丁寧に説明すると弁明して、今の国会でも疑惑解明から逃げ続けています。今度こそ、昭恵氏らの証人喚問を実現し、速やかに疑惑の全容を国民に明らかにしなければなりません。

ブロック別
学習会
シリーズ

ろう学校4校交流会

「大阪府手話言語条例の意義と展望」

9月16日、ろう学校4校交流会をアウィーナ大阪で開催しました。4校から24名が集まり、大阪府の手話言語条例について学習しました。また、各校における手話による情報保障の現状や手話環境整備の課題などについて話し合い、有意義な交流会となりました。

保障などの配慮、環境の整備がいつそう求められています。講演を聞いたあと、各校の手話にかかわる様々なとりくみや職場の状況について意見交換ができました。

大阪府手話言語条例は2017年3月29日に制定されました。条例が制定された過程、条例の意義や今後の展望について、公益社団法人大阪聴力障害者協会会長の大竹浩司さんを講師に招いて講演を聞きました。障害者権利条約に手話が言語として定義され、条約を批准するために国内法の整備がすすむといった社会の

変化を背景に、手話言語法の制定が全国各地ですんだこと、このとりくみの中心には当事者である聴力障害者団体の運動があったことを学びました。大阪府では今年度の具体的なとりくみとして、乳幼児期手話獲得支援事業として乳幼児を対象にした「こ

めっこ(月一回)の開催、社会人向け手話講座として今年度は聴覚支援学校教員を対象とした手話講座の講師派遣が行われています。ろう学校ではすでに手話は子どもたちの教育に使われています。同時に、聴覚障害の先生がおられる学校においては、手話による情報



講演を聞く参加者

《感想です！》

大竹さんのお話はここ最近の話のダイジェストのようで良かったです。これからの動きが大切だと感じました。教育とは別の立場から大聴協の大竹さんのお話を聞くことができ、手話の歴史など振り返ることができました。4校の現状などを知ることができ、とても良い機会となりました。ろう学校や組合がこれからの運動に関わっていく、一緒にたずさわっていくことが大切だと改めて感じました。大阪のろう学校、ろうあ運動の歩みを振り返る機会となりました。集まることは大事ですね。やるべき課題が見えてきたように思います。

分会名：交野支援学校四條畷校分会
分会長：大島敦子
障害種別：知的障害
児童生徒数：151人

第13回

どんな分会？：交野支援学校四條畷校は、北河内地域の分校（枚方支援学校）整備までの対応として、知的障害支援学校分校の位置づけで2010年4月に開校しました。小学部は設置されず、中・高等部だけの学校です。しかし、児童生徒数が増加する中、新校ができて四條畷校が閉校になれば「過大・過密」の状況はますます厳しくなることから「四條畷校存続運動」が父母を中心に展開され、2013年6月、存続が決定しました。存続といっても「当面の間、継続する」というだけで、いつ閉校になるかもしれない状況や、また肢体不自由校である交野支援学校の分校という位置づけは何も変わっておらず、私たちの分会要求の第一番は、独立した知的障害支援学校としての四條畷校本校化です。

分会は開校当初から立ち上がり、この1～2年は青年層の加入が増え、ベテラン層に心地よい刺激を与えてくれています。毎年行っている要求アンケートには未組の方にもたくさんご協力いただき、みんなの声を集めた要求書をもとに管理職と懇談を行っています。また、毎学期の終業式前後に行うお弁当を食べながらの分会集会にはほとんどの組合員が集まり、学校のこと、子どものこと、また自分自身のことなどを語り合っています。このアットホームな雰囲気これから大切に、四條畷校がこれから少しでも良くなっていくよう、分会としてもがんばっていきたくと思っています。

第17回 全国障害児学級&学校

学習交流集会 in 奈良

日程：1月6日(土)～8日(月)

毎年楽しく参加しています。宿泊すると、全国の熱い先生たちともつながるチャンス！3学期に向けてパワーチャージ！ぜひ、一緒に行きましょう。

学ぶなら今こそつながろう
光り輝く子どもたちの未来のために

青年組合員はさらに宿泊費1泊2000円を補助！



小島良平

(堺支援学校分会)